＜報道発表資料＞
（府・経済同時）

令和７年６月５日

京都スタートアップ・エコシステム推進協議会事務局
京都府商工労働観光部産業振興課
京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室
一般社団法人京都知恵産業創造の森

京阪神連携のスタートアップ・エコシステムが内閣府の第２期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画の「グローバル拠点都市（広域都市圏型）」に選定

「大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム」※1 が、国の「第２期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画」※2 に係るスタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市［広域都市圏型※3］に選定されましたので、お知らせします。

※1　京都市、京都府、（一社）京都知恵産業創造の森、経済団体、民間組織等 46 団体で構成する「京都スタートアップ・エコシステム推進協議会」が、大阪、ひょうご神戸の各コンソーシアムと連名で組織するもの。
※2　令和 2 年度に開始された第 1 期の成果を踏まえ、スタートアップの創出と成長を一層促進するために国が推進する取組。地域の大学、研究機関、自治体、企業などが連携し、世界とつながるスタートアップ・エコシステムの形成と、グローバルに活躍するスタートアップの育成を目指すもの。
※3　複数都市（※複数の都道府県域内の自治体）の量的なポテンシャルを集積・発揮し、多層的な産学官金で構成するエコシステムのこと。

【第２期における京阪神の取組の方向性（令和７年度～令和 11 年度）】

大阪・関西万博を契機として、グローバル連携を強化し、地域でポテンシャルを有する『バイオ・ライフサイエンス』、『グリーンテック』、『デジタル』のディープテック分野を軸に、世界で活躍するスタートアップを輩出し、海外からもプレイヤーが参入するグローバルなスタートアップ・エコシステムを形成する。

京都においては、大学やけいはんな学研都市などの研究機関の集積を活かしたディープテック分野における起業促進や成長支援の強化、IVS 等の機会や国際的な認知を活かした海

外との連携強化・海外スタートアップの誘致促進、新技術の社会実装の促進、小中高生等を含めた次世代のイノベーター育成等に取り組む。

（別紙）京阪神スタートアップ・エコシステムにおける取組概要（国公表資料）

【参考：京都の第１期拠点都市ＫＰＩ（令和７年３月末時点）】

KPI	目標	実績
スタートアップ設立数	166 社	222 社
大学発スタートアップ設立数	96 社	102 社
スタートアップ・ビザ設立数	15 件	34 件
ユニコーン創出数	1 社	1 社

⇒すべて達成

【参考：京阪神スタートアップ・エコシステムの全体ビジョン図】

＜お問合せ先＞
京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室
電話：０７５－２２２－３３３９